



JAMBOREE INFORMATION # 01

第 17 回日本スカウトジャンボリー 大会情報 ジャンボリーインフォメーション 第 1 号 2018 年 2 月 9 日発行

ジャンボリーインフォメーションとは？

ジャンボリーインフォメーションは、各県連盟の派遣団や参加予定者を対象に、大会参加に向けた準備に必要な情報を提供することを目的として発行します。大会までに 3 回の発行を予定し、毎号、最新の情報を提供していきますので、ホームページで公開する情報に加えて、準備に活用してください。

目次

開催概要・・・・・・・・・・1	プログラム概要・・・・・・・・4	参加確定申し込み・・・・9	SNS・スマホアプリ・・12
開催趣旨・・・・・・・・・・2	スカウト通信員・・・・・・5	見学者・・・・・・・・・・10	今後の発行予定・・・・・・12
大会ロゴ・・・・・・・・・・2	サブキャンプ・生活・・6	会場利用計画・・・・・・・・11	お問い合わせ先・・・・・・12
会場・・・・・・・・・・3	サブキャンプマーク・・7	アクセスマップ・・・・・・11	
参加者・・・・・・・・・・3	輸送・・・・・・・・・・8	大会ホームページ・・12	

開催概要

会 期：2018（平成 30）年 8 月 4 日～10 日（金）

参加者は、8 月 4 日（土）に入場し、8 月 10 日（金）に退場。6 泊 7 日間のキャンプ生活を行います。

会 場：石川県珠洲市蛸島町「りふれっしゅ村 鉢ヶ崎」

参加者：13,000 人（予定）

（内訳）参加隊（ボーイスカウト・ベンチャースカウト）

11,000 人

大会運営スタッフ・派遣団本部スタッフ

2,000 人

参加予定国・地域

オーストラリア、香港、インド、マカオ、マレーシア、ネパール、パキスタン、アメリカ

平成 29 年に実施した参加予定申し込みには、8 の国と地域から約 400 人の申し込みがありました。

日 程	主な行事
8 月 1 日（水）	先発スタッフ入場・設営
8 月 2 日（木）	大会運営スタッフ入場・設営
8 月 3 日（金）	準備作業
8 月 4 日（土）	参加者入場・設営
8 月 5 日（日）	開会式
8 月 6 日（月）	プログラム
8 月 7 日（火）	信仰奨励・ジャンボリー大集会
8 月 8 日（水）	プログラム
8 月 9 日（木）	プログラム・閉会式
8 月 10 日（金）	撤営・参加者退場
8 月 11 日（土）	撤営・大会運営スタッフ退場
8 月 12 日（日）	撤営・後発スタッフ退場

開催趣旨

全国のスカウトと指導者、そして海外からの参加者を受け、班制教育と各種の進歩制度、野外活動など、スカウト教育の基本を重視した質の高いスカウト活動をおし、「ちかい」と「おきて」の実践を促進させる機会として、また、ジャンボリーならではのプログラムに参加することにより、新たな発見や感動を体感するとともに、スカウト同士の友情の絆を結び、海外からの参加者との交流を通じて国際感覚を高揚させ、世界平和について考える機会を提供するなど、青少年の自己成長を促すための我が国におけるスカウト運動最大の教育イベントとして4年を周期に日本ジャンボリーを開催してきました。

第17回日本スカウトジャンボリーは、日本連盟創立100周年を迎える2022年に向けて、国内スカウト運動のさまざまな課題に取り組む大会として認識し、第18回大会以降も継続していく新たなジャンボリーとして、参加形態の変更、プログラムや大会運営方法の見直し等に取り組み、新たな意義を感じさせるために「スカウトジャンボリー」に名称を変更しました。

目的

本大会に参加する青少年たちが、普段の活動で培ったスカウト訓練を基盤に、国内外のスカウト仲間との相互交流を通じて、日本連盟創立100周年を目指した長中期計画にある、冒険的で楽しい野外活動を行いながら奉仕活動に励む「活動的で自立したスカウトを育てる」こ

とを目指す大会とします。

本大会では、これまでの派遣隊方式から自団の隊のままで参加できる方式に変更することで、すべてのスカウトが自団の指導者と一緒に参加できるようになり、普段のスカウト仲間との班編成で、ベンチャースカウトの支援を受けながら大会参加に向けた事前訓練に取り組み、大会参加を通じて長期キャンプを実践することで、参加する隊や班の育成を図る機会とします。

また、大会開催地である能登の豊かな風土と自然環境を活かし、地域社会との共生をはかりながら、スカウトたちを魅了するハイアドベンチャーの実践と新たな指導者の養成、確保につなげる機会とします。

テーマ

「冒険 ～能登のチカラ未来へ～」

(英語テーマ ADVENTURE - NOTO FOR FUTURE -)

本大会は、日本連盟創立100周年となる2022年に向け、参加者がこの大会でのさまざまな冒険により、大きく飛躍する機会として位置づけています。

開催地である能登は、長い時間をかけて自然と調和した人の営みがつくりあげた里山里海として高く評価され、世界農業遺産に認定されている地域であり、この素晴らしい環境を有した能登の地から、能登の力を活かした未来への冒険を行うことをテーマに、地域社会との連携を深める大会とします。

大会ロゴ

各県連盟派遣団をはじめ、個人・隊・団などを含め、ホームページや各種制作物を制作する際には、大会ロゴの使用法についてまとめたデザインガイドラインを必ず参照してください。

デザインガイドラインでは、正しいロゴの使い方を示しており、単色刷や背景の上にロゴを重ねる場合の対応、利用上の注意点などを紹介しています。

ロゴの使用にあたってはスカウト章の利用に準じた手続きをお願いします。

大会ホームページよりデジタルデータの閲覧およびダウンロードができます。



会場

日本海を臨む能登半島の最先端に位置する珠洲市の中心地より東へ約5km。大自然に囲まれ、オートキャンプ場、ホテル等を備えたリゾート地「りふれっしゅ村鉢ヶ崎」とその周辺を会場とします。

この会場では、過去にアグーナリーや日本ジャンボリーを開催し、今回は2度目のジャンボリーとなります。

2003（平成15）年 第9回日本アグーナリー
2006（平成18）年 第14回日本ジャンボリー



参加者

本大会は、ボーイスカウトおよびベンチャースカウトを参加の主体とし、参加にあたっては、活動を支援する成人指導者ととも各団、隊により参加隊および班を編成します。人数の少ない団、隊においては、近隣の団、隊と混成の参加隊を編成することができますが、参加隊の運営は、自団、自隊を尊重します。

また、ローバースカウトや指導者、県連盟役員を中心に、大会運営スタッフおよび県連盟派遣団本部スタッフを構成します。

その他、外国連盟やガールスカウトをはじめとする関係諸団体、一般からの青少年の参加を歓迎するとともに、特別な配慮が必要な青少年の参加を奨励します。

隊・班の編成

17NSJでは、自団の隊のままで参加できる方式を採用します。

この方式を取り入れることで、すべてのスカウトが自団の指導者と一緒に参加できるようになり、ジャンボリー参加に向けて団や隊が盛り上がり、中途退団者の抑止やカブスカウトの上進率向上に期待します。また、小規模人数の団においては、近隣の団と混成の隊を編成し、複数班での活動を体験できる機会とします。

ベンチャースカウトの参加

ベンチャースカウトは、隊指導者の指導のもと、参加隊の運営に協力し、ボーイスカウトのプログラム活動やキャンプ生活を支援することで、自らが隊活動の楽しさを体感しながら後輩のボーイスカウトに範を示し、彼らの上進意欲を促します。

また、ベンチャースカウトは、ボーイスカウトと同様にジャンボリーのプログラム活動に参加するとともに、大会運営のための奉仕活動にも取り組みながら、国内外の多くのスカウト仲間と出会い、隊活動の楽しさやスカウト運動の広がりを感じることができます。

外国参加者の受け入れ

12歳から18歳までのボーイおよびベンチャースカウトの男女のスカウトを対象に、大学生年代以上のローバースカウトは大会運営スタッフとして各部に配属されます。

外国スカウトは、派遣団または派遣隊のグループごとで各サブキャンプへ配属し、サブキャンプでは日本参加者40人（1区画）に対し外国スカウトを2~3人ずつ受け入れ、共に生活し、プログラムに参加します。現在の申し込み状況から、日本参加隊の3分の1から約半数の隊に外国スカウトを受け入れる見込みです。1つの派遣団、隊などのグループの中に、宗教などの理由により特別な食事や生活の配慮が必要なスカウトが多くいる場合については、そのグループを分散せず、配給などを一か所で行うことができるように検討します。

外国スカウトには、寝袋・雨具・水泳着・食器・懐中電灯等の個人野営具を持参するよう連絡しますが、各隊に配属される外国スカウトのテントや炊具・工具等については、ホストする日本隊での準備をお願いします。外国と日本のスカウトと一緒に生活することになるので、外国スカウトのためだけのものを準備する必要はありません。



プログラム概要

今大会のプログラムは、開催の趣旨にある18NSJ以降も継続していく新たなジャンボリーとして、次回、次々回へと継承できる内容を目指して、進級課目との関連、班（小グループ）活動の活用、BS・VSそれぞれの部門の特色を発揮しながら、ジャンボリーならではの野外活動、体験活動、体力を使うダイナミックなプログラムとなるよう企画してきました。

大会のプログラムは、半日単位で参加するモジュールプログラム、日中の余暇の時間や夜間に実施するサブキャンププログラム、希望者のみの事前申し込み制で実施するエキスカージョンプログラムで構成します。

モジュールプログラム

モジュールプログラムは、そのねらいにより4つのテーマに分かれ、会場内外の5つのエリアで展開。それぞれのモジュールには複数テーマのプログラムを準備しています。また、希望する参加隊は、8月6日（月）と8日（水）のエキスカージョンプログラムに参加することもできます。

テーマ①：チームワーク

進級課目と関連させた個人や班の対抗競技により、一つ上の進級を目指しながら、班のチームワークを高めるプログラム。

例) 班旗立て、火起こし、班対抗ゲーム、丸太切り、ローマ戦車など

テーマ②：名称未定

自然や科学、伝統、文化などの体験をとおして将来の進路選択に向けたキャリア形成につなげることができるプログラム。

例) ワールドスカウティング、企業・団体によるプログラムなど

テーマ③：名称未定

会場の広さや参加人数を体感できる大会の規模を活用したプログラム。

例) 大型構築物、通信や計測技能を使った競技など

テーマ④：マリン

海水浴場の砂浜や海でのプログラムや水上スポーツ。

例) ミニトライアスロン、ライフセービング競技、ロープ結びを使った競技など

サブキャンププログラム

交歓プログラム、スキル・オ・ラマ、スワップ、友情（ワイド）ゲームなど、サブキャンプで実施する自由参加プログラムです。

エキスカージョンプログラム

エキスカージョンプログラムは、バスを使用する場外の有料プログラムで、8月6日（月）と8日（水）の2



回実施します。エキスカージョンプログラムは、希望者のみの事前申し込み制で、バス代や施設入場料等の参加費を事前に納入します。また、参加の際は参加隊指導者が引率してください。

エキスカージョンプログラムの内容と申し込みについては、今後発信する情報をご覧ください。

プログラムへの参加方法

各サブキャンプの参加隊は、5つのグループに分けられ、割り当てられた5つのプログラムモジュールに半日単位で参加します。また、班対抗プログラムは、最少5人、最多8人で参加し、4人を下回る場合は、その場で混成班を組んで参加します。

日程	午前	午後	夜間	エキスカージョンプログラム
8月6日(月)	モジュール	モジュール		○午前・午後
8月7日(火)	信仰奨励の集い		ジャンボリー大集会	×
8月8日(水)	モジュール	モジュール		○午前・午後
8月9日(木)	モジュール		閉会式	×

信仰奨励・奉仕活動

隊や班におけるスカウトタウン・サービスをとおして、「ちかい」と「おきて」の実践や、平和などについて考え、スカウトとして行動を起こします。プログラムエリアには各教宗派によるパビリオンが設置され、日々の信仰活動（礼拝等）を実施したり、自身の信仰と異なる教宗派を知ったりすることができます。

また、8月7日（火）の午前中には、全参加者による信仰奨励の集いや、各教宗派による集いを計画しています。

挑戦！日本一決定戦（仮称）

今回のジャンボリーのプログラムでは、火起こしや手旗、班旗立てなどを全国の隊と競い合います。各隊の通常の活動の中で、事前トレーニングを行い、日本一を目指しましょう。

各プログラムのレギュレーションや参加方法は、今後お知らせしていきます。

全体行事

開会式 8月5日（日）

参加者が大会の開会を祝い、今大会の趣旨を確認する内容です。

ジャンボリー大集会 8月7日（火）

異なる文化、信条をもつ参加者同士が、参加する国や地域などの特色ある演技等を鑑賞し、世界に広がるスカウト運動を体感し、団結することを目指します。

閉会式 8月9日（木）

ジャンボリー会場で過ごした時間を振り返り、大会に関わる人、物、環境について感謝の心をもつほか、大会で出会った仲間との再会を約束するなど、ジャンボリーで学んだことへの実践を誓うことを目指します。



スカウト通信員

各参加隊から選ばれたスカウトが通信員となり、ジャンボリー期間中に得た体験や経験をスカウト自身のメッセージとしてマスメディアを通じて社会に伝えていきます。

広報部プログラム班が県連盟の広報担当者と連携して、スカウト通信員を支援していきます。

選出方法、登録については、今後発信する情報をご覧ください。





サブキャンプ

参加者は、6か所のサブキャンプに分かれて生活します。各サブキャンプはブロックの参加人数に応じた区画数に区分し、ブロック内の県連盟が主体となって運営します。

会場は、海に面し、沿岸地特有の気候で、晴天時には特に暑さが厳しくなります。

サブキャンプには樹木がほとんどないため、タープなど日除けの工夫が必要です。また、時折強い風が吹くため、テントなどが飛ばされないための工夫も行いましょう。サブキャンプは、耕作地など平坦な用地が多く、一般的に砂の多い地質です。

雨水側溝などで穴を掘る場合には、撤営時にきれいに埋め戻しましょう。また、耕作地に灰や炭、ごみなどを残さないために、直火によるたき火や生活雑排水を土壌浸透させないように、各参加隊でかまどや炊事場を工夫して炊事を行ってください。

サブキャンプの設備

サブキャンプは大きく3つのエリアに分かれ、各エリアに2か所ずつ、人数規模に応じた数量の生活設備を設置します。

①給排水

炊事やシャワーなどで使用する大会の「水」は、仮設水道により珠洲市の水道水が各サブキャンプまで配られます。参加隊は、各サブキャンプの水汲み場からキャンプ地へ水を運び使用します。また、生活雑排水を土壌浸透させないように、水汲み場に隣接して設置する汚水樹に各隊で排出した生活雑排水を集めて、下水へ流します。水や食材の運搬にはリヤカーなどを用意すると便利でしょう。

②トイレ

各サブキャンプには、汲み取り式の仮設トイレを設置します。汲み取り式トイレには不便を感じるかもしれませんが。生活環境の変化に慣れ、食事や排便など普段のリズムで生活できることが、毎日の健康管理につながります。また、次に利用することの人を思い、きれいに利用することや、利用者自身によるこまめな清掃を心がけましょう。

③シャワー

各サブキャンプには、男子スカウト、女子スカウト、男性指導者、女性指導者の4つに区分された仮設のシャ-

ワー設備と洗面所を設置します。利用者が集中する時間帯には混雑することがあるので、より多くの参加者が利用できるよう短時間で利用しましょう。シャワーでの忘れ物が多く見受けられます。利用後に、衣類や洗面用具が残っていないか必ず確認しましょう。

食事

参加隊の食事は野外炊事とし、大会本部からサブキャンプ本部を通じて食料の配給を受けます（米は含みません）。配給は朝夕の1日2回行われ、プログラム実施日の昼食には携行食が朝の配給時に配られます。参加者は携行食を持参して各プログラムサイトに移動し、サブキャンプに戻ることなく午前・午後のプログラムに続けて参加することができます。

配給期間

参加隊

8月4日（土）夕食分から

8月10日（金）朝食分までの17食分

大会運営スタッフ・派遣団本部スタッフ

8月2日（木）夕食分から

8月11日（土）朝食分までの26食分

炊事用燃料の薪

17NSJでは、班炊事を基本とし、炊事用燃料には薪を使用します。また、炊事用の薪は、食料の配給に準じて配給します。

火つきのよい針葉樹（スギ）と火持ちのよい広葉樹（コナ



ラ）の2種類の薪が、各サブキャンプの人数に応じた量で大きな袋に入れて運ばれます。各参加隊はサブキャンプを通じて配給を受けることになります。1区画40人対して袋半分の両（約7kgの束にして40束相当）が目安となります。

日ごろのキャンプでナタでの薪割りや、薪での炊事に慣れておきましょう。

長さ：約30cm

太さ：8等分より細く割った太さ



文字のみの場合

17th NIPPON SCOUT JAMBOREE
ADVENTURE

17th NIPPON SCOUT JAMBOREE
DISCOVERY

17th NIPPON SCOUT JAMBOREE
BRAVERY

17th NIPPON SCOUT JAMBOREE
ENDEAVOR

17th NIPPON SCOUT JAMBOREE
CHALLENGE

17th NIPPON SCOUT JAMBOREE
FUTURE

簡略デザイン



車両の利用と駐車場

会期中、会場内では個人の車両使用はできません。会場内を通行できる車両は、大会本部、支援者、関係業者等の大会業務に必要な車両に限定します。会場内の駐車場については、これら業務用車両に限定し、会場の西、約1.5km離れた蛸島漁港に場外駐車場を設けます。

場外駐車場は大会運営スタッフが乗車してきた車両や、参加隊バスの期間中の留め置き、自家用車等で来場される見学者の駐車場として利用します。蛸島漁港の駐車場から会場まではシャトルバスを運行する予定です。

また、会場内には、一度に停められるバスの台数に制限があるため、輸送調査を通じて全国的な時間調整を行い、すべてのバスは蛸島漁港に入り、時間と台数を調整しながら会場へ進入します。

資器材輸送

参加隊の資器材の輸送については、参加隊の集散時の混雑を避ける目的で、参加隊到着前に搬入し、参加隊退場後に搬出することを原則とします。参加隊到着まで保

守ができるよう、JR コンテナの利用を基本に、小規模な隊や派遣団向けに JITBOX を予定しています。各サブキャンプにコンテナおよび JITBOX を集約して設置し、参加隊によって各キャンプ地へ荷物を運びます(JITBOXの場合は荷物引き渡し後、カゴは回収されますので、台車としての利用はできません)。

トラックで資器材を輸送する場合には、会場内への入場可能な日時を指定しますので、派遣団による荷卸しと保守をお願いいたします。また、バスによる資器材輸送となる場合についても、会場への入場の時間調整をお願いすることになります。

輸送調査

参加者の移動方法、到着・出発希望時間帯、車両の台数、資器材輸送の方法等を把握し、集散時の輸送業務を円滑に運営するために、県連盟を通じて輸送調査を実施しますので、ご協力ください。

第1次輸送調査 1月末回答締め切り

**第2次輸送調査 3月実施
4月末回答締め切り予定**



参加確定申し込み

大会に参加する参加者（参加隊スカウトおよび指導者）、大会運営スタッフ、派遣団本部スタッフは、昨年実施した参加予定申し込みが続いて、参加確定申し込みで正式な参加者登録となります。

参加予定申し込み後の参加者の変更や、参加確定申し込みからの新規申し込みも可能ですが、参加隊については予定申込より大幅な人数の増減や参加隊の必要区画数（隊数）に変更が生じる場合には、所属県連盟を通じて日本連盟と調整のうえ、申し込み手続きを進めてください。

参加確定申込期日

団から県連盟への申し込み

2018年4月10日（火）

県連盟から日本連盟への申し込み

2018年4月20日（金）

参加費

一人あたり 40,000 円

（予納金 10,000 円 + 残額 30,000 円）

参加予定申し込みを済ませている方は、必要書類と一緒に参加費の残額（一人あたり 30,000 円）を、所属県連盟を通じて納入してください。

参加隊

17NSJ では、自団の隊のままで参加できる方式、または派遣隊方式により参加します。参加予定申し込みでは、10人から48人まで、さまざまな編成人数による申し込みがありました。参加隊のキャンプ地は40人に対して1つの区画を割り当てますので、標準の40人に近づくよう近隣の団・隊で協議するか、県連盟内または県連盟同士で調整してください。



大会運営スタッフ

（大会本部各部・サブキャンプ本部）



ローバースカウト、指導者等は大会運営スタッフとしても参加でき、本大会では約2,000人のスタッフを必要としています。各県連盟派遣団の参加隊1区画につき7人以上の推薦をお願いしています。参加予定申し込みでは、サブキャンプ本部に希望が集中し、大会本部各部への希望者は必要人数の約半数でした。再度、ブロック内で必要人数と各県連盟の人数を調整のうえ、大会本部各部にも推薦してください。

大会本部の各部とサブキャンプ本部の主な業務は下記のとおりです。大会本部の各部への奉仕を希望する方は、参加確定申し込み要領の最終頁、必要な特技、技能、資格などを参照のうえ、第1希望から第3希望までの部署を選択し、お申し込みください。

大会本部およびサブキャンプ本部の主な業務

大会本部	総務部	大会本部の会議、参加者および見学者の受付、外国派遣団、来賓等に関すること
	広報部	大会の情報提供、報道、大会記録、スカウト通信員プログラム等に関すること
	プログラム部	場内外プログラムに関すること
	全体行事部	全体行事（開会式、ジャンボリー大集会、閉会式）、アリーナ、信仰奨励に関すること
	安全・救護部	参加者の安全管理、会場内の警備、救護所・カウンセリング等に関すること
	輸送部	会場内および周辺の交通統制、人員や荷物の輸送、駐車場等に関すること
	会場運営部	会場利用、施設、設備、資材、器具、ごみ処理、し尿処理等に関すること
	配給・食堂部	参加者の食料や炊事用燃料、スタッフへの給食等に関すること
	売店部	売店地域、スカウトショップ等に関すること
サブキャンプ本部	キャンプ地の区割り、生活設備の維持、参加隊との連絡調整、配給、サブキャンププログラム等に関すること	

今大会では、より多くの方にスカウト運動や大会の意義を理解していただくために、大会の一部を体験できるよう見学者を受け入れます。加盟員であるスカウトや指導者、その家族、地元の住民などを広く歓迎します。駐車場の確保や会場内の混雑を避けるために、一日最大約2,000人、期間を通じて延べ10,000人程度を予定しています。

見学日程

大会のプログラムや全体行事の実施時間帯に合わせて設定します。

日 程	見学時間帯	主な行事
8月5日(日)	13:00～21:00	開会式
8月6日(月)	9:00～16:30	プログラム
8月7日(火)	13:00～21:00	ジャンボリー大集会
8月8日(水)	9:00～16:30	プログラム
8月9日(木)	9:00～21:00	プログラム 閉会式

※見学時間帯は、今後変更になることがあります。今後の情報を必ず確認してください。

見学の範囲

プログラムエリアのほか、自団の参加者が配属されたサブキャンプを見学できますが、全体行事実施日の16:00以降はサブキャンプに留まることはできません。また、全体行事の見学については、アリーナに見学者の着席位置を指定します。

申込方法・費用

見学者は事前登録を基本とします。加盟員については、ウェブで見学者に関する情報（人数、駐車場利用の有無・台数、希望時間等）を入力し事前登録を行います。地元石川県や珠洲市など、一般の方の事前登録方法は、別途お知らせします。

複数日の見学を希望する場合は、日程別にそれぞれ登録を行います。また、事前登録人数が定員数に達した場合はその段階で申し込みは終了となります。

会場受付時に渡すバッジや資料、場外駐車場から会場までのシャトルバス料金、見学者が参加できるプログラムの費用として、見学費を事前に納入していただきます。金額、納入方法については、今後の情報をご参照ください。

交通・宿泊

車両を利用する場合は、会場の手前にある蛸島漁港の駐車場を利用し、会場までシャトルバスで入場してください。貸切バスを利用する場合は、会場内のバスターミナルまで入場できますが、降車後は蛸島漁港の駐車場にバスを移動し待機してください。

見学者は会場内では宿泊できません。見学に際して宿泊が必要な場合には、見学者自身で手配をお願いします。

大会による宿泊斡旋は行いませんので、周辺の宿泊情報については、石川県や珠洲市の観光情報サイト（大会ホームページにリンク有り）をご参照ください。



会場利用計画



サブキャンプエリア



プログラムエリア



アリーナ

アクセスマップ



大会ホームページ

大会に関する最新の情報は、大会ホームページに掲載してまいります。



SNS・スマホアプリ

日本連盟公式 SNS 等でもさまざまな情報を発信していくほか、現在AndroidとiOSに対応したスマートフォン用のアプリも開発中です。最新の情報は、公式サイトや日本連盟 SNS をご覧ください。



※画像はイメージです。



今後の発行予定

今後発行するジャンボリーインフォメーションの掲載内容は下記を予定しています。

第2号 2018年4月

- 見学者最新情報
- 外国参加者のサブキャンプ配属
- スカウト通信員
- プログラム最新情報
- 大会ソング
- 救護体制・健康管理
- セーフ・フロム・ハーム
- カウンセリング
- 献立、配給方法
- サブキャンプライフ
- 事前予約・調査 など

第3号 2018年6月

- 会場での受付、到着・出発の流れ
- 外国参加者最新情報
- 信仰奨励の集い、各教宗派の集い
- シャトルバス運行表
- 支給品（ワッペン・IDカード）、ガイドブック類の紹介
- プログラム最新情報
- ジャンボリー・アワード
- 生活に関する更新情報 など

お問い合わせ

大会についてのお問い合わせは、ボーイスカウト日本連盟事務局までお問い合わせください。なお、大会への参加に関するお問い合わせは、各県連盟の事務局までお問い合わせください。

発行



公益財団法人

ボーイスカウト日本連盟

SCOUT ASSOCIATION OF JAPAN

〒113-8517 東京都文京区本郷 1-34-3

TEL 03-5805-2634

FAX 03-5805-2908

E-mail 17nsj@scout.or.jp

ホームページ <http://www.scout.or.jp/>